

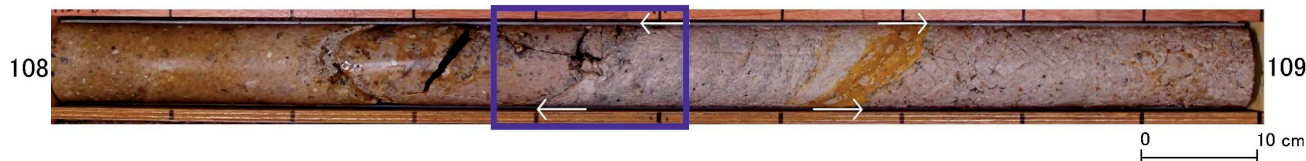
H27-B-4 深度108.44~108.71m 最新活動面の深度 (No.最-32) を変更

- 変更後の最新活動面認定方法によると、H27-B-4 深度108.44~108.71mの破碎部における最新活動面は108.71mの断層面であることから、最新活動面深度を変更した。

H27-B-4 深度108.44~108.71m ボーリングコア観察 断層面の認定(1/2)

- ボーリングコア観察において、深度108.44mに断層面  $\alpha$  が認められる。
- 断層面  $\alpha$  は、湾曲及び凹凸が少なく直線性に富む。また、不連続部が認められず、連続性に富む。

コア写真

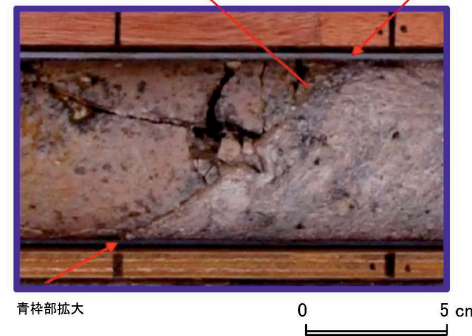


凡例  
 ← → 破碎部範囲\*  
 ※:写真上は白色で記載

ボーリング柱状図

- 108.44~108.71m: 破碎部
- 108.44~108.63m: 粘土混じり礫状部 (Hj)  
 上端52°で直線的に、下端45°で不明瞭に連続。径2~10mmの粘土化した岩片主体で、全体に軟質で灰白色を呈し、弱い縞状構造が見られる。
- 108.63~108.67m: 粘土質礫状部 (Hb)  
 上端45°で不明瞭に、下端57°で漸移的に連続。径10mm以下の粘土化した岩片主体で、軟質。上位より変質し灰白色を呈する。幅30mm。
- 108.67~108.71m: 礫質粘土状部 (Hc)  
 上端57°で漸移的に、下端62°で波打って連続。褐色汚染が明瞭で、褐色の軟質な基質に径10mm以下の岩片を含む。縞状構造が見られる。幅35mm。

湾曲及び凹凸が少なく、不連続部が認められない



凡例  
 ↓ 断層面

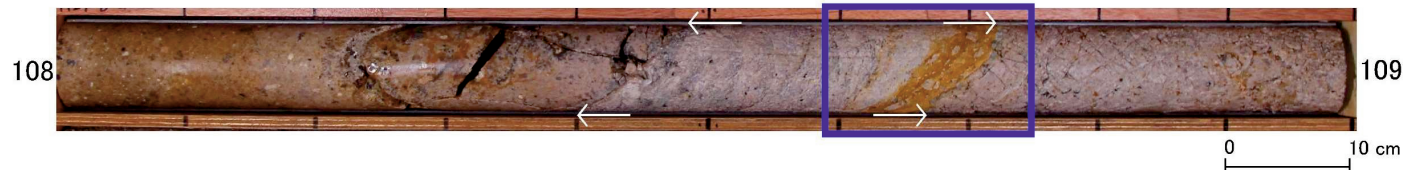
H27-B-4 深度108.44~108.71m 最新活動面の深度 (No.最-32) を変更

- 変更後の最新活動面認定方法によると、H27-B-4 深度108.44~108.71mの破碎部における最新活動面は108.71mの断層面であることから、最新活動面深度を変更した。

H27-B-4 深度108.44~108.71m ボーリングコア観察 断層面の認定(2/2)

- ボーリングコア観察において、深度108.71mに断層面βが認められる。
- 断層面βは、湾曲及び凹凸が認められ直線性に乏しい。また、不連続部が認められず、連続性に富む。

コア写真

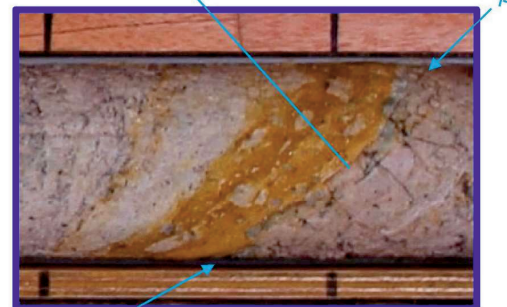


凡例  
 ← → 破碎部範囲\*  
 ※:写真上は白色で記載

ボーリング柱状図

- 108.44~108.71m: 破碎部
- 108.44~108.63m: 粘土混じり礫状部 (Hj)  
 上端52°で直線的に、下端45°で不明瞭に連続。径2~10mmの粘土化した岩片主体で、全体に軟質で灰白色を呈し、弱い縞状構造が見られる。
- 108.63~108.67m: 粘土質礫状部 (Hb)  
 上端45°で不明瞭に、下端57°で漸移的に連続。径10mm以下の粘土化した岩片主体で、軟質。上位より変質し灰白色を呈する。幅30mm。
- 108.67~108.71m: 礫質粘土状部 (Hb)  
 上端57°で漸移的に、下端62°で波打って連続。褐色汚染が明瞭で、褐色の軟質な基質に径10mm以下の岩片を含む。縞状構造が見られる。幅35mm。

湾曲及び凹凸が認められ不連続部は認められない



凡例  
 ↓ 断層面

青枠部拡大

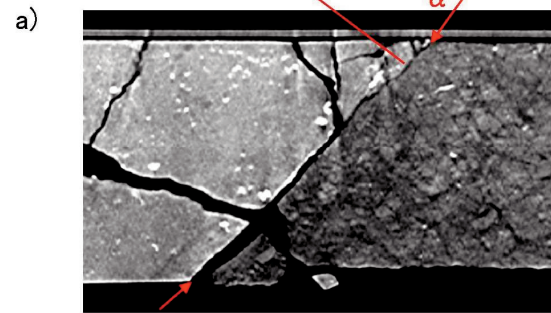
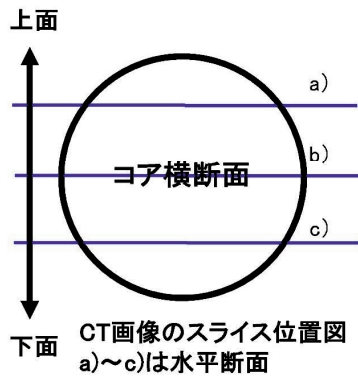
H27-B-4 深度108.44~108.71m 最新活動面の深度 (No.最-32) を変更

H27-B-4 深度108.44~108.71m CT画像観察 断層面の認定(1/2)

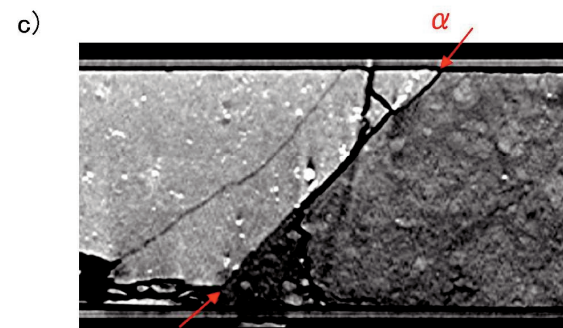
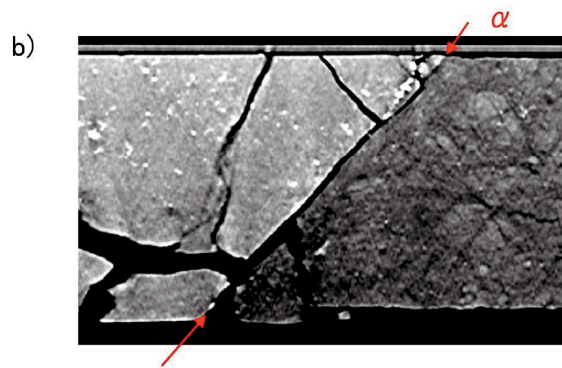
- CT画像観察において、ボーリングコア観察で認められた断層面  $\alpha$  が認められる。
- 断層面  $\alpha$  は三次元的に他の構造に切られておらず、湾曲及び凹凸が少なく、直線性に富む。また、不連続部が認められず連続性に富む。

ボーリングコアCT画像

湾曲及び凹凸が少なく、不連続部が認められない



凡例  
断層面



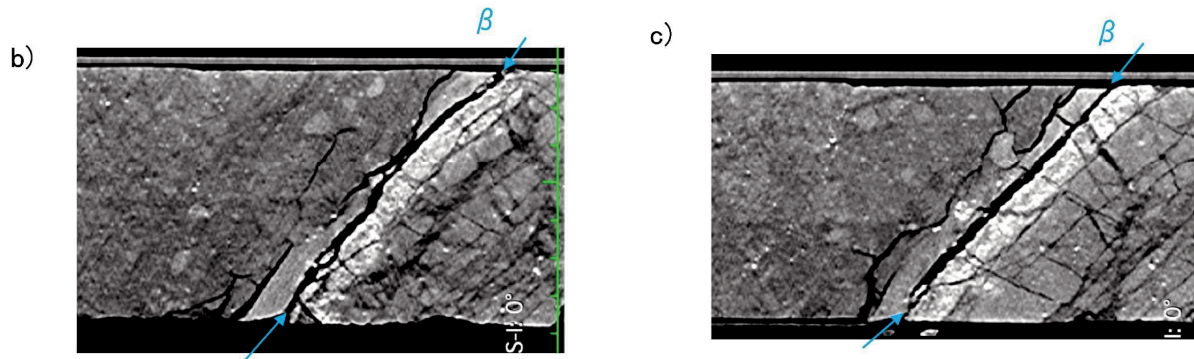
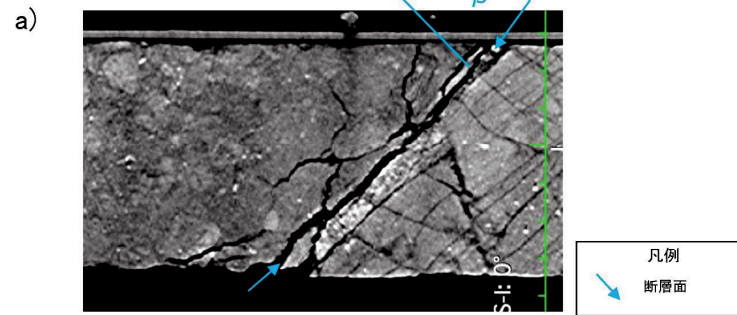
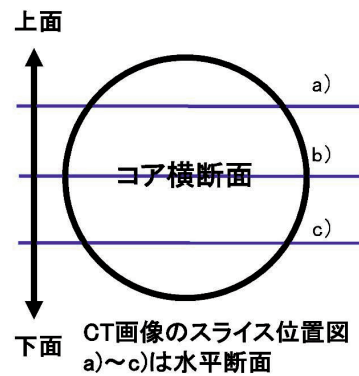
H27-B-4 深度108.44~108.71m 最新活動面の深度 (No.最-32) を変更

H27-B-4 深度108.44~108.71m CT画像観察 断層面の認定(2/2)

- ・CT画像観察において、ボーリングコア観察で認められた断層面  $\beta$  が認められる。
- ・断層面  $\beta$  は三次元的に他の構造に切られておらず、やや湾曲するが、直線性に富む。また、不連続部が認められず、連続性に富む。

ボーリングコアCT画像

やや湾曲し、不連続部が認められない



H27-B-4 深度108.44~108.71m 最新活動面の深度 (No.最-32) を変更

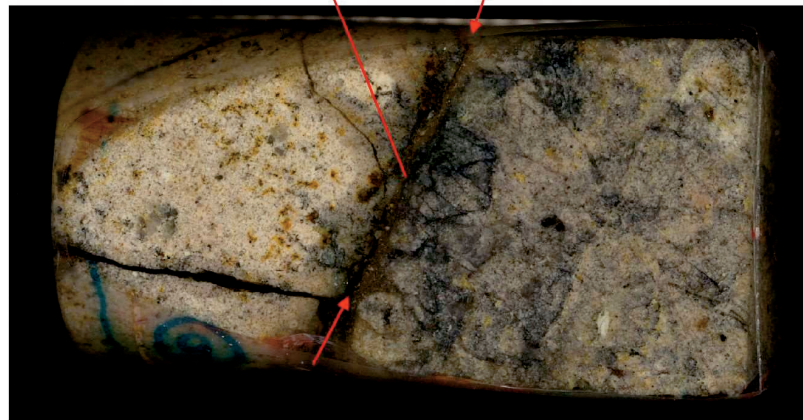
### H27-B-4 深度108.44~108.71m 研磨片観察 断層面の認定(1/2)

- ・研磨片観察において、CT画像観察の結果と同様に断層面  $\alpha$  が認められる。
- ・断層面  $\alpha$  は他の構造に切られておらず、細粒部を伴い、湾曲及び凹凸が少なく、直線性に富む。また、不連続部が認められず、連続性に富む。

研磨片写真

湾曲及び凹凸が少なく、不連続部が認められない

孔口側



孔底側

5 cm

凡例  
断層面

H27-B-4 深度108.44~108.71m 最新活動面の深度 (No.最-32) を変更

## H27-B-4 深度108.44~108.71m 研磨片観察 断層面の認定(2/2)

- ・研磨片観察において、CT画像観察の結果と同様に断層面 $\beta$ が認められる。
- ・断層面 $\beta$ は、他の構造に切られておらず、細粒部を伴い、湾曲が認められ直線性にやや富む。不連続部が認められず、連続性に富む。
- ・ボーリングコア観察、CT画像観察、研磨片観察より、断層面 $\alpha$ 、断層面 $\beta$ のいずれが最新活動ゾーンか判断し難いため、双方で薄片を作製する。

湾曲が認められ、不連続部が認められない

研磨片写真

 $\beta$ 

孔口側



孔底側

凡例

断層面

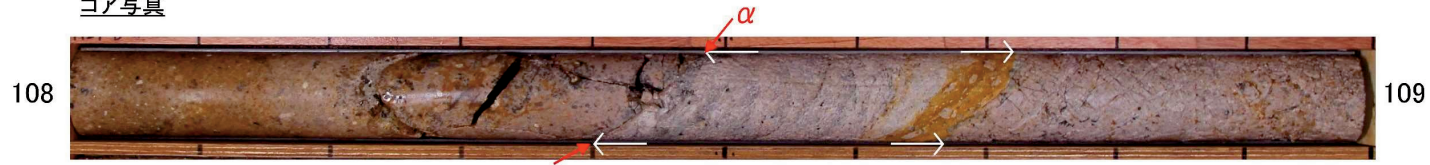
5 cm

H27-B-4 深度108.44~108.71m 最新活動面の深度 (No.最-32) を変更

H27-B-4 深度108.44~108.71m 薄片作製位置

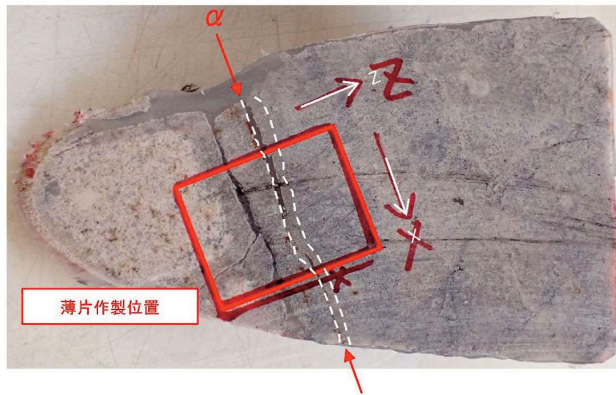
・薄片は断層面  $\alpha$  及び細粒化が進んだ範囲を含むように作製した。

コア写真



凡例  
 ← → 破碎部範囲※  
 ↓ 断層面  
 ※:写真上は白色で記載

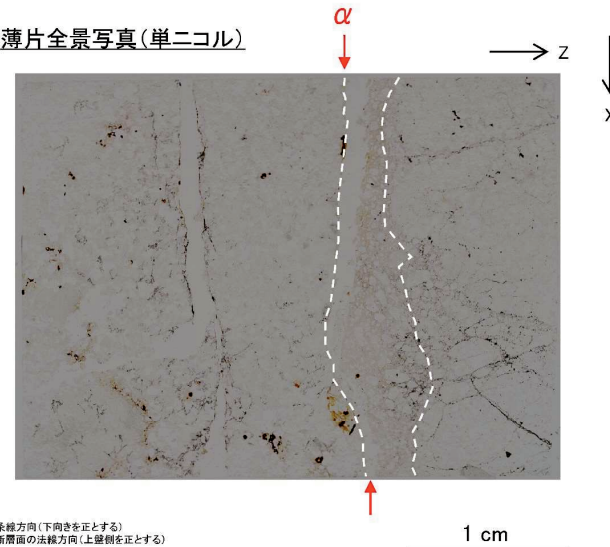
薄片作製位置写真



X:条線方向(下向きを正とする)  
 Z:断層面の法線方向(上盤側を正とする)

凡例  
 ↓ 断層面  
 ----- 肉眼観察で相対的に細粒化が進んだ範囲※  
 ※:写真上は白色又は黒色で記載

薄片全景写真(単ニコル)



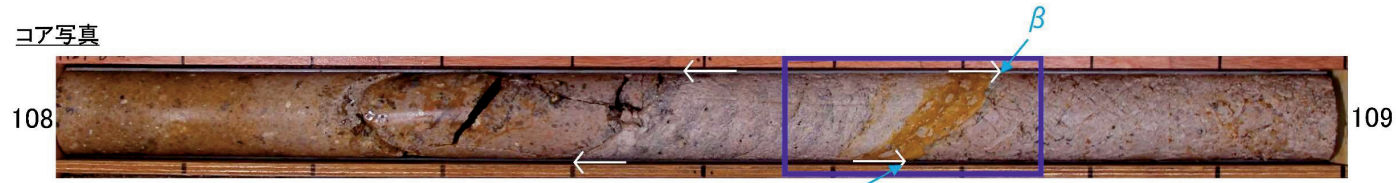
X:条線方向(下向きを正とする)  
 Z:断層面の法線方向(上盤側を正とする)

H27-B-4 深度108.44~108.71m 最新活動面の深度 (No.最-32) を変更

H27-B-4 深度108.44~108.71m 薄片作製位置

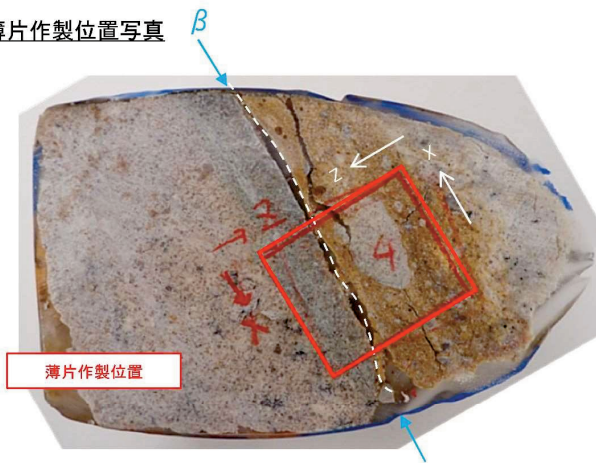
・薄片は断層面  $\beta$  及び細粒化が進んだ範囲を含むように作製した。

コア写真



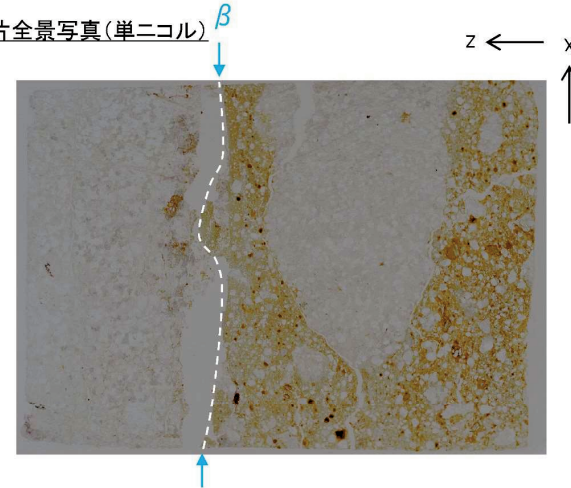
凡例  
 ← → 破碎部範囲※  
 ↗ 断層面  
 ※: 写真上は白色で記載

薄片作製位置写真



※切断面に記載されているX方向・Z方向は誤り  
 X: 条線方向 (下向きを正とする)  
 Z: 断層面の法線方向 (上盤側を正とする)

薄片全景写真(単ニコル)



X: 条線方向 (下向きを正とする)  
 Z: 断層面の法線方向 (上盤側を正とする)

凡例  
 ↗ 断層面  
 - - - - 肉眼観察で相対的に細粒化が進んだ範囲※  
 ※: 写真上は白色又は黒色で記載